

## 「児童生徒の作品」 ③

校長 森 勝義

夏休みの出来事

6年2組 角谷玲衣

私は夏休みにシカゴにあるグレートウルフロッジに行ってきました。グレートウルフロッジでは、ウォーターパークを大満きつしてきました。ここには大規模なウォーターパークがあります。ウェーブプールや10個以上のウォータースライダーがあります。私は円の中で回って真ん中の穴に落ちるのが2つあるスライダーがお気に入りでした。5人乗りの底のついた浮き輪に乗るので、父と弟といっしょに乗れてにぎやかでとても楽しかったです。通常浮き輪のウォータースライダーは、乗る時、最大人数は2人なので、はじめて3人そろって乗れたので楽しかったです。そのウォータースライダーに乗る列に並んでいた時に弟が、「ユーチューバーの真似をしよう！」と提案しました。私は「いいよ」と答えました。私は別に大声はいりあげられはざかしい思いをするわけじゃないし、と書いていたのですが、いよいよ乗る時に弟が、「こんにちは賢三です。」「ダディーです。」と弟と父が言ったので、しかたなく「れいです。」と言いました。すると最初の開店の時が来て興奮してしまった父が「波動けん！」とさけび始めました。「ダディー、ちょっとやめて、はずかしい」と言うともっと「波動けん！」と言って、私の声が聞こえていないと思いあきらめました。

他にも楽しいことはいっぱいありました。みなさんも楽しい夏休みを過ごせましたか？

夏休みの出来事

6年2組 王茜音

パリのルーブル博物館に行きました。たくさんの素晴らしい美術作品を見ました。合計で、約3万5千点の作品があります。けれど一番のお気に入りの作品は、ミロのビーナスです。なぜならこの作品は他の作品と比べて、ミステリアスなのです。失われた部分があるからです。この作品を見るとき、私は多くの疑問がうかびました。例えばなくなっている手は、どんなポーズをとっていたか、そしてどうやって手が折れたのか。音声ガイドでも、なぜ手が欠けているのか分からないと言っていました。ミロのビーナスは、紀元前130年から100年の間に作られたので、戦争で壊れた可能性があると言っていました。ミロのビーナスを見に行くと言われたときは、「また彫刻かあ」と思いましたが、着いた時、私はとても興味をそそられました。とても楽しかったです。

夏休みの出来事

6年2組 山口清悠

ぼくはディズニーランドに旅行に行きました。フロリダには4つのテーマパークがあります。今回はそのパークの中で3つのパークに行きました。そしてディズニーには他に大きなウォーターパークが2つあるので、その一つのタイフーンラグーンと言うウォーターパークに行きました。そこは、アメリカで1番大きな大波がくるプールがあり、ぼくはそれがとても好きでした。まず大波のプールはでかい波が来て、遠くに飛ばされます。それに帽子や頭に何か付けていると失くします。そして浅いところに座っていて大丈夫だと思っていると、怪我します。あとはエプコットのアリソンが楽しかったです。アリソンは世界中を飛んでいる様に見えます。日本のディズニーとアメリカのディズニーでは、飛ぶコースが変わります。

先週8月2日、小学6年1組の投稿、なんと46通ありました。ありがとうございます。紹介します。小学2・3・4年の児童もたくさん投稿してくれました。

8月2日作品	土曜パラダイスで紹介
小学6年1組	町田 ひなみ 「ハチドリは 全然見ない すごい鳥」
小学6年1組	野中 準矢 「空の中 冬のためには 移る鳥」
小学6年1組	井田 大葵 「朝起きた ギースの群れが にわにいる」
小学6年1組	清水 彩加 「ハチドリだ まどからみえる バタバタと」
小学6年1組	福原 みう 「発表 豊臣すごい 人気だな」
小学6年1組	吉岡 律 「人はみな 長生きしたいと 思ってる」
小学6年1組	入江 友 「あいさつは 心と心の にじのはし」
	職員 「ハチドリだ 校長先生 呼んできて」
小学6年1組	小澤 玲奈 「とりさんよ しずかにしてよ ねむたいよ」
小学6年1組	西川 翔真 「スズメバチ なんですずめが ついてるの」
小学4年1組	ほそやゆうと 「松の木は ぼくのお家の シンボルだ」
	ダジャレコーナー
小学2年2組	後藤ゆういちろう 「めがねをはずしたら めがねー」
小学4年2組	遠山そうすけ 「あのだいぶつは だいぶつかれている」
小学1年2組	ふじいたいが 「カエルがいえにかえる」
小学4年2組	濱石 みさき 「ソーダはうまいそうだ」
小学2年1組	いちはしげん 「マーカーを食べる マッカーサー」
小学6年1組	濱石 朋佳 「鳥取の 鳥のトリオ」



ヒゲ森の言葉の森・探検

幸福の原が

ひとつ閉じるときには

別のひとつが開きます。

ヘレン・ケラー

1880年～1968年 アメリカの社会事業家

今の幸福が終わっても、いつか別の違った幸福が訪れるはず。ひとつの幸福に執着せず、心を開いておこう。

うみせん やません

海千山千

経験豊かで、悪賢いこと。裏も表も知り抜いた、したたかでする賢いこと。